

令和5年3月1日発行 発行・編集／香川県高等学校PTA連合会事務局 高松市西内町7番11号 香川県高等学校PTA会館内
TEL087-851-4614 FAX087-851-4628 E-mail info@kagawa-koupren.com URL http://kagawa-koupren.com/

【池田新知事を表敬訪問】

学校教育の充実について意見交換

高P連では、今年度から県議会や県教委など関係機関への要望書提出など新しい取組みを行ってきました。11月9日には、杉本会長、竹野副会長、事務局長の3名で、8月28日の香川県知事選挙で当選された池田豊人新知事にご挨拶に伺い、意見交換を行いました。



冒頭、杉本会長から「全国的にPTAの加入問題が深刻化しつつあり高校でも問題化してくると思われる。PTA活動は生徒のための大切なものであると考えているので、今後協力しながらより良い教育環境の実現に努めていきたい。」と挨拶しました。続いて、竹野副会長から、「安

心・安全な学習環境の実現のため、先日提出した要望書のとおり、空調整備・運用経費の公費負担をぜひ実現していただきたい。」と要望しました。

さらに、会長からは、「県内高校生の県内大学への進学率が20%と低く、地域振興のためにはこの比率を上げていく必要がある。高P連としても『大学・地域共創プラットフォーム』とも連携し、て保護者向けの説明会などに取り組み、県内大学の良さを理解してもらおう取組みを検討している」と話しました。

池田知事からは、「空調に関する要望書の内容は聞いており、他県の状況も見ながら検討する必要があると考えている。また、20年以上前とは県内の産業界も大きく変わっており、世界に名だたる素晴らしい企業もたくさんある。県外に出た人も香川に戻りたいと思ってもらえるよう、企業に対する理解も広げていく必要がある」と考えており、今後もPTAの方々と連携していきたい。」と話されました。

高P連では、今後も生徒たちの教育環境の充実や地域振興のための活動に取り組んでいきたいと考えています。そのためにも、各学校が抱える課題について意見をお聞きしながら県や県教委等に要望したり、関係機関と連携した活動に取り組みたいと考えています。

知事への「要望書」提出

8月の県議会議長及び県教育委員会教育長あての要望書提出に続いて、9月27日（火）に、知事あての要望書を副知事に提出しました。

内容は、県議会議長等と同様の空調設備費用の公費負担に関する要望です。杉本会長からは池田新知事の所信にある三つの柱に子育て支援が含まれることを踏まえ、今回の要望内容の趣旨や理由について説明しました。竹野副会長からも、母親の立場から子どもたちの健康問題を指摘し、学校規模による負担の不公平さは是正などを要望しました。

知事からは、「地球温暖化の影響でエアコンは不可欠となっている。知事とも相談し他県の様子も調べて検討していきたい。」との回答をいただきました。



知事表敬訪問、知事への「要望書」提出	1	県教育委員会よりお知らせ	6
第4回香川県高P連研修会報告	2	PTA活動紹介	7
新規高P連助成事業の報告		高松北中学校・高校、香川県藤井高校	
第27回大学・専門学校訪問研修会報告	3	令和5年度主要行事予定案	8
全国規模の大会で優秀な成果を収めた生徒の表彰		PTA NEWS	
高校生・保護者のためのキャリアガイダンス事業	4・5	高校生総合保障制度の案内	



第4回香川県高P連研修会報告 (文部科学省委託事業ネットモラルキャラバン隊)

～安全に賢くネットを活用できる18歳成人となるために～

9月10日(土)、かがわ国際会議場において、3年ぶりに高P連研修会を開催しました。今年度は文部科学省委託事業として(株)メディア開発総研が全国で実施しているネットモラルキャラバン隊を開催し、保護者45名、教職員等28名の計73名が参加しました。司会是高P連副会長の竹野安子高松高校PTA会長が担当しました。

最初に、主催者として杉本会長が挨拶をした後、文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課安全教育推進室 林剛史室長補佐より「青少年のスマホやインターネットをめぐる問題に関する取組 ～安心・安全な利用のために」と題して文部科学省における取組についての説明がありました。

続くパネルディスカッションでは、高校生も含めて活発な議論が行われました。参加者は次のとおりです。

まず、コーディネーターの高橋氏から、今年4月に成人年齢が18歳に引き下げられたことから、ネットを利用した契約や支払いでのトラブル増加が予想されることや、特にキャッシュレス支払いの後払いの問題が大きくなっていることなどが問題提起されました。

続くパネルディスカッションでは、上沼氏や原田氏から重課金、特に、スパチャと呼ばれる投げ銭の問題が増えており、18歳成人によって契約の未成年者取消ができなくなるなどが指摘されました。

その後、杉本会長からは保護者の立場から子どもたちのスマホとの付き合い方や契約に関する不安、二人の高校生からは自身のスマホとの付き合い方やトラブル回避のための取組などについて発表があり、今後の賢いネットとの付き合い方に関して具体的な取組みや対策に関する議論が深まっていきました。

参加者からは、「高校生が18歳成人を自覚して契約についてしっかりとした考えをもって堂々と発表している姿に感動した」、「親としてスマホの利用や契約について子どもたちとよく話し合っていく必要性を感じた」などの意見が寄せられました。パネリストからは最新の情報を数多く提供していただくなど、とても有意義で実りあるパネルディスカッションとなりました。

- コーディネーター
一般社団法人セーフラインインターネット協会
高橋 大洋氏
- パネリスト
虎ノ門法律事務所弁護士 上沼 紫野氏
一般社団法人ECネットワーク 原田 由里氏
高P連会長 杉本 勝利
高松工芸高校2年生 藤田ひかるさん
坂出商業高校3年生 久保田 樹さん



【新規事業】

単位PTAや学校教育の振興・奨励のための 高P連助成事業の報告

令和4年度助成対象団体・学校(6団体 各50,000円)

高等学校関係研究団体	① ロボット相撲大会用の土俵製作	香川県高等学校教育研究会工業部会
積極的に教育研究を推進する学校	② 哲学対話のための講師招聘事業	坂出第一高等学校
	③ 総合的な探究の時間の活動振興	藤井学園寒川高等学校
特色ある取組みを推進する単位PTA	④ クリエイティブ7による伝統工芸作品制作・販売	高松工芸高等学校
	⑤ 駐車場整備と地域の花いっぱい計画	高松北高等学校 PTA
	⑥ 地域と連携した避難所リーダー育成	石田高等学校 PTA



新たに製作した土俵上での相撲対決(高教研工業部会)



哲学対話による思考力等の育成(坂出第一高校)



探究成果をオープンスクールで公開(藤井学園寒川高校)



クリエイティブ7で制作した伝統工芸品(高松工芸高校)



地域の幼稚園で花いっぱい運動(高松北高校)



非常食による炊き出しの研究(石田高校)

第27回 大学・専門学校訪問研修会

京都方面 報告

10月21日(金)・22日(土)、『第27回大学・専門学校訪問研修会』を開催し、県下高等学校の保護者・教職員等66名の参加を得て、立命館大学、龍谷大学、京都先端科学大学、京都芸術デザイン専門学校(校)を訪問しました。

立命館大学

令和2年度に創立120年を迎えた歴史と伝統を誇る全国屈指の総合大学です。まず、香川県出身の熊谷秀之入学センター次長より、「子供たちの進路実現目指して」と題してご講話をいただきました。今後の就職戦線では学歴ではなく学習歴が大切になることや、高校時代に自分を真剣に磨くべきことなど、大変参考になるお話をいただきました。



現役の大学生8人によるキャンパス案内では、平日だったので多くの学生さんたちの活動の様子を見ることができ、活気にあふれた大学を体感しました。

龍谷大学

2校目の龍谷大学では、大学の概要説明も、キャンパス案内も同大学の学生にいただきました。概要説明では、学生らしい視点で大学の特徴や魅力について解説していただき、大学生



活の様子を実感することができました。キャンパス見学は10名の学生による少人数に分かれての案内でした。どの学生も説明がわかりやすく、どんな質問にも丁寧な答えでいただいたので感心したという感想が多く寄せられました。

京都先端科学大学

二日目の1校目は、京阪神地区で注目を集めている京都先端科学大学を訪問しました。学長のビデオメッセージでは「10年後、世界で通用する一流の大学になっていくことを約束する」というお話があり、実践的な英語教育プログラムなど、公約通りの教育を実践されています。



本県出身の3人の学生によるトークショーでは、大学生活の様子、卒業後の計画などについて堂々と話していて、社会で活躍できる実践的な力を育成する教育力の高さを感じました。3人に共通していたのは学生と教職員の距離が近く何でも相談できるという点で、安心して大学生を送れそうという感想が

寄せられました。

京都芸術デザイン専門学校

京都北白川の自然豊かな地にある京都芸術大学に併設する専門学校です。



キャンパス内では、斜面を利用したキャンパス内の階段を上り下りしながら多彩な施設を見学し、最後には京都市内を一望できる絶景スポットにも案内していただきました。

説明会では、大学と専門学校の違いやデザインナーとアーティストの違いなど基本的事項から、併設大学への3年次編入制度や充実した就職サポートなどを説明していただき、学校の魅力を実感できました。

今回の大学・専門学校訪問研修会は3年ぶりの開催でした。参加者は教育内容や就職などの説明に続き、学生の案内で学内の施設を見学したり、学生食堂を利用していただくなど、キャンパス生活の一端を直接体験しながら、訪問大学等についての知見を広めることができました。また、慈照寺銀閣での観光や買い物を楽しんだり、参加者同士の親睦を深めることもでき、大変有意義な研修会となりました。

全国規模の大会で 優秀な成果を収めた生徒の表彰

(令和4年2月1日～令和5年2月10日現在)

おめでとうございます!

第19回「金融と経済を考える」 高校生小論文コンクール

金融広報中央委員会 会長賞 観音寺第一高校 1年(現2年) 合田 怜奈さん

第19回民家の甲子園全国大会

文部科学大臣賞 多度津高校・写真部

藤岡 泰輝さん 藤原 聖也さん 石井 はなさん
前川 梓さん 尾崎風愛羅さん 埴淵 結理さん

第76回滝廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール

第1位 高松第一高校 2年 中村 心滯さん

第76回全日本学生音楽コンクール全国大会

第1位 高松第一高校 2年 中村 心滯さん

第37回「WE LOVE トンボ」 絵画コンクール

環境大臣賞 高松工芸高校 3年 榎林 桜子さん

令和4年度(第74回) 明るい選挙ポスターコンクール

文部科学大臣賞・総務大臣賞 高松工芸高校 1年 富士由依奈さん

令和4年度(第74回) 明るい選挙ポスターコンクール

文部科学大臣賞・総務大臣賞 高松工芸高校 3年 水沼 快さん

全日本ロボット相撲全国大会2022(自立型の部)

優勝 観音寺総合高校 3年 滝口 陽向さん

第38回防災ポスターコンクール 高校生・一般の部

防災担当大臣賞 高松東高校 2年 須永来怜亜さん

【高校生・保護者のためのキャリアガイダンス事業】

高校生の多様な進路希望の実現のため、県内の大学・短大と連携して、各学科の特色や大学生活の魅力、卒業後の進路、進路実現に向けたアドバイスなどの情報をお届けします。

本学は、医療の高度化や複雑多様化する人々のニーズに応えるべく平成16年4月に開学しました。

保健医療学部は看護学科と臨床検査学科の2学科で構成され、それぞれ看護師、臨床検査技師を育成しています。また、令和4年4月には、本学大学院に保健師・助産師教育課程を開設しました。看護学科を卒業後、本課程に進学することで保健師、助産師を目指すことができます。

県内唯一の県立大学である本学は、地域に根差し、開かれた大学として、教員と学生が様々な地域活動を展開しています。

地域の方々への健康教育活動、ボランティア活動など、香川県の保健医療の向上に寄与しています。

本学では、学生一人ひとりが自分の適性に合った進路を選択し、専門職としてのキャリアを主体的に構想・実現できるように、各学年に応じた進路支援を行っています。

就職コーディネーターや学年担当教員による個別面談の実施、進路支援セミナーの開催、卒業生や県内主要病院との交流会の開催、各学生の就職・進学試験の進捗に応じた個別指導の実施により、就職・進学活動を支援します。



地域住民対象の公開講座開催

香川県立保健医療大学



看護学科では、令和2年度入学生から新カリキュラムを展開し、学部4年間で高い実践能力と倫理観を育成する看護教育を行っています。

学生の学修意欲の向上と多様な学びを保证するため、主体的な学修を進めるグループワーク、学年を超え相互に学び合う多学年での演習を含む協働学修、臨床判断能力を向上するための最新機器の導入と臨床実践者と連携した実践的な演習と実習、そして香川県の地域特性を反映した地域実践型の実習等も積極的に取り入れ、授業、演習、実習を連動しながら質の良い学びのサイクルを形成しています。

臨地実習は、県内の医療機関、高齢者施設や訪問看護事業所など多様な施設で実施し、就職や進学への支援体制も充実しています。



臨地実習（新生児の健康診査）

臨床検査学科では、特徴あるカリキュラムと国内最高水準の実習機器を整備し、少人数（一学年20名）の利点を生かした臨床検査学教育体制をとっています。

医療の高度化や安全管理・社会環境の変化に対応すべく、検診検査学、生殖補助医療技術論、地域チーム医療論、健康食品学、医療安全管理学などの科目も履修可能で、臨床検査技師の業務範囲の拡大内容についても修得できるように学内演習・実習を充実させています。

臨地実習は、3年次に県内の主要医療機関で約3ヶ月間行います。具体的・個別的に臨床検査業務や他職種連携業務等を実践し、総合的実践能力はもとより、医療従事者として必要とされる倫理観や責任感を習得します。



学内実習（血液検査学実習）

- ◎取得できる資格等
学士（看護学）
看護師国家試験受験資格
- ◎国家試験合格率（令和3年度）
第111回看護師国家試験：100%
- ◎卒業後の主な進路（令和3年度）
・就職60名
香川県立病院、高松赤十字病院、香川大学医学部附属病院、高松市立みんなの病院、大阪大学医学部附属病院、神戸市民病院、岡山大学病院など
・進学8名
本学大学院（実践者養成コース）
神戸市看護大学大学院など

- ◎取得できる資格等
学士（臨床検査学）
臨床検査技師国家試験受験資格
健康食品管理士認定試験受験資格*
遺伝子分析科学認定士（初級）受験資格*
食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格*
（※は所定科目履修者）
- ◎国家試験合格率（令和3年度）
第68回臨床検査技師国家試験：93.8%
- ◎卒業後の主な進路（令和3年度）
・就職15名
高松市立みんなの病院、KKR高松病院、キナシ大林病院（株）四国細胞病理センターなど
・進学1名 本学大学院

【初年度納付金等について】

- ・入学選考料 17,000円
- ・入学金 県内者 197,400円
それ以外の者 366,600円
- ・授業料 年額 535,800円
(4月末、10月末に半額ずつ納付)

※上記は令和4年度の額であり、改定する場合があります。
※ほか、後援会費、教科書代などが必要です。

【経済的支援について】

本学は高等教育修学支援新制度の対象校です。また、大学独自の授業料等減免制度、分納・納付猶予制度があります。

【入学試験について】

保健医療学部の入試区分には、学校推薦型選抜と一般選抜があります。各学科の入試情報（日程、選抜方法、入学に当たり修得が望まれる知識等）については、本学ホームページ掲載の「入学者選抜要項」を御覧ください。

●看護学科のアドミッション・ポリシー

- 1 科学的思考力を発展させる基礎学力を有している人
- 2 人間に関心があり、人との関わりに喜びを感じる人
- 3 状況判断ができ主体的に行動できる人
- 4 地域の看護実践の発展に貢献したい人

●臨床検査学科のアドミッション・ポリシー

- 1 論理的思考に必要な基礎学力を有している人
- 2 責任感と協調性があり、主体的に行動できる人
- 3 知的好奇心が旺盛で、科学的な観察力を持つ人
- 4 臨床検査技術を基盤に、地域の多様な分野で活躍したい人

香川短期大学

① 香川短期大学ってどこに？

香川短期大学は坂出市と丸亀市に挟まれた宇多津町にあります。高松駅から宇多津駅までは快速電車で約20分。宇多津駅からは歩いてちょうど10分。結構、便利などころにありますね。近くにゴールドタワーや四国水族館があるので、「ああ、あそこか」と思い当たる人も多いのでは。車で通学する学生も多く、広い駐車場を持っているので、駐車スペースに困ることはありません。



② ロケーションが素晴らしい！

本学は我が国の大学のなかで、海に最も近いところにある大学といわれています。嘘か本当か知りませんが・・・上の階に行くと北を眺めると、瀬戸内海が眼下に広がり、その向こうには瀬戸大橋がくっきりと見えます。本学はこの瀬戸大橋が開通した翌年に善通寺から移転して

きました。かつては塩田であったこの地は街並みの整備が進み、今では「恋人の聖地」として売り出しています。南に目を向けると、イオンタウン、シネマ、家電ショップ、それに飲食店がたくさんあり、大学生活を楽しむための条件がいくつもそろっています。ある調査では、宇多津町は四国で2番目に住みやすい自治体だとか・・・

③ どんなことが学べるの？

香川短期大学には、生活文化学科、子ども学科第Ⅰ部、子ども学科第Ⅲ部、経営情報科の4つの学科があり、約500人の学生が学んでいます。

以下ではそれぞれの学科について説明しますね。まずは、生活文化学科食物栄養専攻。食物栄養専攻は、「栄養士」を養成するためのカリキュラムが柱になっています。栄養士は学校や保育園の給食、高齢者施設での食事の提供などを主な職場としています。食にまつわる分野は広いので、いろんな世界で活躍してほしいですね。また、「管理栄養士」を目指している学生も少なからずいます。管理栄養士国家試験の受験資格は、本学から4年制大学に編入するか、栄養士として3年間実務経験を積むと得られます。そこで本学卒業生を対象に国家試験対策講座も行っていきます。

子ども学科は第Ⅰ部と第Ⅲ部の二つの学科があります。第Ⅰ部は通常の2年制の課程です。第Ⅲ部は全国的にも珍しいので少し説明が必要ですね。まず、短大

でありながら3年制の課程であること、授業は午前中で終わること、学費は通常の2年分を3年間に分けて納付するので1年分の負担が軽いこと、そして、国によって認可された制度なので、国の修学支援制度を利用する人は3年間支援が受けられること、でしょうか。ゆっくり短大で学びたい、経済的にしんどいのでアルバイトを頑張りながら学業に従事したいという方にお勧めです。

学ぶ内容はⅠ部もⅢ部も同じです。カリキュラムは保育士資格と幼稚園教諭免許状(2種)の取得を柱に据えて設計されています。二つの資格を取得するので、実習の多いのも特徴ですね。毎年1月にはレクザムホールと宇多津にあるユープラザで「子ども劇場」を開催します。県内の5歳児を招待しての一大イベントで、子ども学科が一番盛り上がる時です。

経営情報科は情報ビジネスコースとデザイン・アートコースの二つのコースがあります。情報ビジネスコースの特徴は、経営学や情報リテラシーをベースに、自己の関心に基づいていろんなことが学べるということです。例えば、まちづくり、観光、医療事務、図書館司書など。その成果として、日商簿記、秘書検定、日商PC検定、観光実務士などの様々な資格を取得して卒業していきます。今、新しいメニューとしてドローンの操縦とVR・eスポーツを加えようとしています。デザイン・アートコースでは、社会や生活の中に「美」を見出し、ものを観る力、柔軟な感性、発想力、高い表現力と個性

を培います。このために、デッサン、デザイン、絵画、映像、CG、漫画などの多彩な授業科目を用意しています。人の心を動かす作品制作に挑戦したい、この思いは「卒業制作展」に凝縮されています。



④ 入試に備えるために！

総合型、資格利用型、学校推薦型、指定校、一般、社会人など、多様な入試を行っています。大事なものは、入学する専攻との「ミスマッチ」を防ぐことだと考えています。そのため、なぜこの学科を選択するのか、その理由を説明できるようにしておくて下さい。子ども学科なら子どもへの関心、保育園や幼稚園で仕事をすることへの意欲などが重要です。まずは、オープンキャンパスへの参加をお勧めします。

県教育委員会 よりお知らせ

香川県内の高校生が集まり探究活動の成果を披露し合う「第4回香川県高校生探究発表会」が、3月12日に県社会福祉総合センターコミュニティホール、県庁ホールほかを会場として開催されます。

高校では、総合的な探究の時間や課題研究、各教科における探究科目などで、生徒が社会との関わりの中から自ら問いを見だし、深く探究していく学習活動が行われています。地域の課題に寄り添い、高校での学びを生かした新しい発想による解決をめざす探究活動の中で、広い視野で主体的、協働的に課題解決に取り組む力や、よりよい社会を実現しようとする態度、自己肯定感などを養おうとしています。

発表会に参加する学校や発表件数は年々増加しており、今回は21校から45件の発表が行われます。地域活性化や環境問題、国際理解、科学・工学、食文化、スポーツ等々多岐にわたるテーマについて、プレゼンテーションソフトを活用しながら、堂々とした発表が行われることでしょう。

高校では、このような新しい学びを通して、変化の早い社会をたくましく生き抜いていく生徒の育成に取り組んでいます。

第4回
香川県高校生探究発表会が開催されます

第49回全国高等学校総会文化祭
「かがわ総文祭2025」

令和5年度4月開校！
香川県立小豆島みんなの支援学校

県立特別支援学校の校名が
変わります

令和7年度に香川県で全国最大規模の高校文化部の祭典「かがわ総文祭2025」が開催されます。全国や海外から約2万人の高校生が集い、吹奏楽や美術・工芸、小倉百人一首かるたなど24の部門で発表・展示・競技などが繰り広げられます。本県では、昨年度から生徒準備委員会を立ち上げ、大会基本方針やPR動画の作成、大会テーマ等公募作品の審査にあたってもらっています。

11月6日にはイオンモール綾川で、生徒準備委員の企画・運営による大会1000日前広報イベントを実施しました。オープニングでは、琴の演奏に合わせ、書道部員が大会テーマ「讃岐に咲くは、オの花たち」を揮毫。吹奏楽やマーチングバンドの華やかなステージ発表のほか、来場者が楽器演奏などを体験できるコーナー、各部門の紹介を兼ねた間違い探しクイズなどを実施し、イベントは大成功に終わりました。

次年度は、高校1・2年生を対象に生徒実行委員を募集し、開会行事や広報イベント、国際交流など、本格的に準備を進めて参ります。



1000日前イベント
ステージ発表の様子



香川県立小豆島みんなの支援学校
(小豆郡小豆島町池田1789番地)
小豆島みんなの支援学校開校準備室HP→

令和5年4月に小豆地域に初となる特別支援学校が池田小学校に隣接する場所に設置されます。校名は「香川県立小豆島みんなの支援学校」で、本県9校目の県立特別支援学校となります。

本校は知的障害のある子どもたちが学ぶ特別支援学校で、小学部・中学部を設置します。また、障害の状態により島外への通学等が困難な高等部に該当する生徒の学びの機会を保障する場として、「香川県立香川中部支援学校高等部分教室」を校内に設置します。

なお、学校の教育方針、校訓を始めたとする開校に向けた準備の様子などは、開校準備室ホームページにて定期的に情報発信しています。

障害種別	新学校名 (R5.4.1 ~)	現在の学校名
知的障害	香川東部支援学校	香川東部養護学校
	香川中部支援学校	香川中部養護学校
	香川丸亀支援学校	香川丸亀養護学校
	香川西部支援学校	香川西部養護学校
視覚障害	視覚支援学校	盲学校
聴覚障害	聴覚支援学校	聾学校
肢体不自由	高松支援学校	高松養護学校
病弱	善通寺支援学校	善通寺養護学校

県教育委員会では、児童生徒等の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという特別支援教育の理念や特別支援学校の役割について一層の理解が図られることを目的として、令和5年4月から県立特別支援学校の校名を変更します。なお、校名変更後も障害種別（視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱）の教育体制は継続し、主たる障害種別についての専門的な教育の充実を図ります。

また、この校名変更を契機として、本県における特別支援教育の一層の充実と理解推進に努めます。

PTA活動紹介

高松北
中学校・高校

高松北中学校・高等学校PTAは、名前の通り中高合同で活動しています。役員は申告がない限り一度就任

しました。毎年、文化祭の時に実施していた制服や体操服のリサイクル活動は、事前に申し込みを受け、抽選をして一度に部屋



制服リサイクルバザー

を実験について実体験のアンケートを実施して記事にすることができ、後輩たちや保護者の参考になりました。役員不在の時期がないので、年度が替わる頃の行事も取材が可能です。令和4年度は日本PTA全国協議会の全国小・中学校PTA広報紙コンクール中学校の部でレイアウト賞を頂きました。

ここ2年ほどはコロナの影響で活動が制限されましたが、できないから仕方ないと考えるのではなく、どうしたらできるのかと方法を模索しました。毎年、文化祭の時に実施していた制服や体操服のリサイクル活動は、事前に申し込みを受け、抽選をして一度に部屋



花いっぱい計画活動中

に入る人数を調整しました。最初の年は問題点も出てきましたが、2年目には改善してスムーズに開催できました。環境委員会が実施している「花いっぱい

い計画」「駐車場整備活動」はPTA全体へ案内をしていましたが、人が密になるので役員のみで行うようにしました。駐車場の整備には、中学の野球部員が早朝にもかかわらず、手伝いに来てくれました。本校は遠距離から登校する中学生がいるため、保護者が送迎することもありますが、その時に学校近くの空き地を使わせていただいているのでお礼も兼ねて草刈りや凸凹になった地面を整備しています。

研修委員会のメイン行事は県外へ行くPTAだけの大学訪問の企画・運営です。移動制限があり県外の大学へ行けなかった時は、県内で受け入れていただける大学を探して少人数で開催しました。早く通常通りに開催できることを期待しています。



研修旅行

役員みんなが、子どもたちの為に何かがしたい、安心して勉強や部活ができる環境を作りたいという情熱をもって活動しています。

香川県
藤井高校

本校は、2023年に創立100周年を迎えます。「誠実」「勤勉」「礼節」の学園精神のもと、多様な活動に意欲的に取り組んでいきます。普通科(ユリーカコース・特別進学コース・グローバルコース)、商業科(情報処理コース・ビジネスコース)から成り、生徒たちの進路希望や適性に応じて各コースとも私学ならではの特色ある教育活動が行われています。

主なPTA活動は、役員会や代議員会、PTA総会、各種研修会への参加など校外にまで及びます。学校行事に対する保護者の関心は高く、体育祭や藤高祭(文化祭)には毎年多くの方が訪れ、子供たちを応援しています。



バザーの様子

し、各家庭から持ち寄って頂いた品物を販売しました。生徒たちや来場された方々と楽しくやり取りしている様子を見て、PTA活動が以前に近い形に戻りつつあるのを実感しました。

コロナの影響で様々な活動が中止や制限を余儀なくされていますが、本校ではできるだけから少しずつ活動を始めています。夏には日帰りでもありますが、高知県への研修旅行を実施しました。久しくPTA活動が行われていなかったこともあり、参加者は親睦も含めて積極的に意見交換するなど有意義な時間を過ごしました。

とりわけ学校と保護者が深く関わる活動としては、9月の藤高祭でのチャリティーバザーが挙げられます。PTAで協

令和5年度 主要行事予定案

- 5月25日(木) ●第1回定例理事会(高P連・振興会)
- 6月 8日(木) ●PTA活動推進功労者表彰式・高P連総会並びに教育振興会定時評議員会
- 7月14日(金) ●第65回中国・四国地区高P連大会岡山大会
- 7月27日(木) ●第2回定例理事会(高P連・振興会)
- 8月24日(木)・25日(金) ●第72回全国高P連大会宮城大会
- 9月16日(土) ●第5回香川県高P連研修会
 演題 「3.11を学びに変える」
 講師 一般社団法人Smart Supply Vision
 特別講師 佐藤敏郎 氏
- 10月20日(金)・21日(土) ●第28回大学・専門学校訪問研修会(大阪方面)
- 2月15日(木) ●第3回定例理事会(高P連・振興会)

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事の中止、延期、縮小しての開催等、やむを得ず変更になる場合がありますことをご了承ください。

第65回中国・四国地区 高等学校PTA連合会大会

岡山大会

- 期 日 令和5年7月14日(金)
 - 会 場 倉敷市民会館(倉敷市)
- ★事務局では、交通・宿泊の手配はいたしません。

第72回 全国高等学校PTA連合会大会

宮城大会

- 期 日 令和5年8月24日(木)・25日(金)
 - 会 場 カメイアリーナ仙台 他5会場(仙台市)
- ★事務局では、趣向を凝らした「香川県高P連プラン」(交通・宿泊等)を企画し、ご案内いたします。

第28回 大学・専門学校訪問研修会

大阪方面

- 期 日 令和5年10月20日(金)・21日(土)
 - 訪問先 未定(大阪の大学・専門学校)
- ★訪問先は8月初旬までに決定し、ご案内いたします。
例年以上の感動プランをご提案いたします。

PTA NEWS

高P連より

- 【新企画】「香川県高等学校等PTA広報誌コンクール」応募受付開始！(令和5年3月1日～3月24日)
- 令和5年度の「知事・県教委等への要望内容」及び「振興奨励費(助成金)」の受付(4月3日より開始予定)

香川県高等学校PTA連合会推薦

高校生総合保障制度ご案内

県高P連が推薦する当保障制度は、生徒さんの24時間のケガ・病気の補償はもとより、期せずして自転車事故の加害者となってしまった場合の賠償金も補償されます。

直近でも自転車事故や扶養者の不慮の事故などで数千万円の保険金支払いがあり、当保障制度により子供さんたちやご家族の経済的・精神的負担を和らげることができると考えています。是非、この機会にご加入を検討いただけますようお願い申し上げます。

パンフレット配布スケジュール

在校生は、終業式または始業式など、
新入学生は、合格説明会などで配布されます。

第一次募集締切：2023年3月31日(金)

補償(保険)期間：2023年4月1日(土)
より1年間

※卒業まで自動更新

制度に関するお問合わせ先 【取扱代理店】
 (有)アワード 高松市出作町305-2 TEL: 087-888-6131
 TMG(トータルマネジメントグループ) 高松市円座町510-5 101 TEL: 087-813-5808
 ㈱アイネクスト 高松市木太町1130-3 TEL: 087-861-1177

AIG [引受保険会社] AIG損害保険株式会社
 高松支店 TEL: 087-851-0196
 AIG損保 香川県高松市磨屋町8-1 あなぶき磨屋町ビル4F